

# 四半期報告書

(第65期第2四半期)

自 平成25年7月1日

至 平成25年9月30日

株式会社 バ ナ ー ズ

埼玉県熊谷市石原一丁目102番地

# 目 次

頁

表 紙

## 第一部 企業情報

### 第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 ..... 1
- 2 事業の内容 ..... 2

### 第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク ..... 3
- 2 経営上の重要な契約等 ..... 3
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 ..... 3

### 第3 提出会社の状況

#### 1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 ..... 4
- (2) 新株予約権等の状況 ..... 4
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 ..... 4
- (4) ライツプランの内容 ..... 4
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 ..... 5
- (6) 大株主の状況 ..... 5
- (7) 議決権の状況 ..... 6

#### 2 役員の状況 ..... 6

### 第4 経理の状況 ..... 7

#### 1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 ..... 8
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ..... 10
  - 四半期連結損益計算書 ..... 10
  - 四半期連結包括利益計算書 ..... 11
- (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ..... 12

#### 2 その他 ..... 17

## 第二部 提出会社の保証会社等の情報 ..... 18

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月12日
【四半期会計期間】	第65期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社バナーズ
【英訳名】	BANNERS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 久保 憲一
【本店の所在の場所】	埼玉県熊谷市石原一丁目102番地
【電話番号】	048（523）2018（代）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 藤牧 由亘
【最寄りの連絡場所】	埼玉県熊谷市石原一丁目102番地
【電話番号】	048（523）2018（代）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 藤牧 由亘
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第64期 第2四半期連結 累計期間	第65期 第2四半期連結 累計期間	第64期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高（千円）	1,487,471	1,658,877	3,036,178
経常利益（千円）	78,320	35,986	180,357
四半期（当期）純利益（千円）	68,827	40,615	162,950
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	68,827	40,615	162,950
純資産額（千円）	2,635,252	2,771,846	2,812,098
総資産額（千円）	5,382,462	6,328,543	6,307,115
1株当たり四半期（当期）純利益 （円）	1.73	1.01	4.14
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	48.96	43.80	44.59
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	16,000	△19,889	173,882
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	6,579	△99,734	△51,402
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	△209,130	22,343	259,632
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（千円）	368,909	840,299	937,572

回次	第64期 第2四半期連結 会計期間	第65期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期（当期）純利益 （円）	0.76	0.44

（注）1．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2．売上高には、消費税は含んでおりません。

3．潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日において、当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による経済政策や日銀による金融政策への期待感などから株価の上昇など景気回復への動きが見られました。一方で、企業の設備投資や個人消費全般につきましては、本格的な回復にはなお時間がかかる状況にあります。

このような状況の中、当社グループでは、不動産利用事業においては安定収入の維持拡大に向けて、本庄地区の再開発の検討を引き続き行うとともに、自動車販売事業においても売上高の拡大・収益増大を図るべく、本庄店の店舗・整備工場の移転・拡大リニューアルの実施を行ってまいりました。

その結果、当社グループの売上高は1,658百万円（前年同期比111.5%）となりました。収益面では、営業利益40百万円（前年同期比46.5%）、経常利益35百万円（前年同期比45.9%）、四半期純利益40百万円（前年同期比59.0%）となりました。

#### [セグメントの概況]

##### (不動産利用)

売上高は175百万円（前年同期比100.0%）、セグメント利益は116百万円（前年同期比97.3%）となりました。

##### (自動車販売)

平成25年6月に本庄店がリニューアルオープンしたことなどにより売上高は1,230百万円（前年同期比93.8%）、セグメント損失19百万円（前年同期はセグメント利益34百万円）となりました。

##### (楽器販売)

平成25年3月28日を効力発生日とする株式交換により日本ダブルリード㈱を連結子会社とし、平成25年3月31日をみなし取得日としております。それにより第1四半期連結会計期間より楽器販売事業における売上高・セグメント利益を計上しております。売上高は253百万円、セグメント利益12百万円となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ97百万円減少し840百万円となりました。

##### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によって使用した資金は、19百万円（前年同期は16百万円の獲得）となりました。主な減少要因としては税金等調整前四半期純利益の減少などによるものであります。

##### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によって使用した資金は、99百万円（前年同期は6百万円の獲得）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

##### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によって獲得した資金は、22百万円（前年同期は209百万円の使用）となりました。これは主に長期借入による収入によるものであります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	44,500,000
計	44,500,000

###### ②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	40,472,172	40,472,172	東京証券取引所 (市場第二部)	権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株 式であり、単元株式数は 100株であります。
計	40,472,172	40,472,172	—	—

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	—	40,472,172	—	307,370	—	282,370

## (6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
株式会社エルガみらい研究所	東京都港区芝5丁目27-4-301	6,750	16.68
新村 健造	東京都葛飾区	1,984	4.90
株式会社ハイタッチ	東京都渋谷区恵比寿1丁目8-6	1,820	4.50
日本デンソー通信有限公司	埼玉県行田市門井町1丁目36番地3	1,264	3.13
CREDIT SUISSE AG ZURICH S/A RESIDENT TOKYO	UETLIBERGSTRASSE 231 P.O. BOX 600 CH-8070 ZURICH SWITZERLAND	980	2.42
川口 文三郎	東京都品川区	841	2.08
荒谷 道德	大阪府大阪市西区	800	1.98
鈴木 義雄	静岡県伊東市	600	1.48
近藤 資浩	愛知県田原市	495	1.22
近藤 恭子	愛知県田原市	478	1.18
計	—	16,014	39.57

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

(平成25年9月30日現在)

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 82,500	—	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式 (その他)	普通株式40,244,000	402,440	同上
単元未満株式	普通株式 145,672	—	同上
発行済株式総数	40,472,172	—	—
総株主の議決権	—	402,440	—

② 【自己株式等】

(平成25年9月30日現在)

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数 (株)	他人名義所有株式数 (株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%)
株式会社バナーズ	埼玉県熊谷市石原一丁目102番地	82,500	—	82,500	0.20
計	—	82,500	—	82,500	0.20

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新東京監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	979,009	897,745
受取手形及び売掛金	82,452	81,866
商品及び製品	284,907	272,704
原材料及び貯蔵品	2,211	2,078
前払費用	22,424	50,079
前渡金	17,533	11,983
短期貸付金	76,066	66
繰延税金資産	3,859	2,526
その他	6,051	35,446
貸倒引当金	△2,803	△1,107
<b>流動資産合計</b>	<b>1,471,710</b>	<b>1,353,390</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	3,426,517	3,557,184
減価償却累計額	△2,158,627	△2,201,980
建物及び構築物（純額）	1,267,890	1,355,204
機械装置及び運搬具	79,085	98,896
減価償却累計額	△46,184	△38,633
機械装置及び運搬具（純額）	32,901	60,262
工具、器具及び備品	20,781	26,899
減価償却累計額	△18,667	△17,178
工具、器具及び備品（純額）	2,114	9,721
土地	3,056,341	3,056,341
リース資産	76,527	77,136
減価償却累計額	△8,427	△17,100
リース資産（純額）	68,099	60,035
建設仮勘定	52,500	—
<b>有形固定資産合計</b>	<b>4,479,846</b>	<b>4,541,564</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	34,914	31,422
その他	2,275	2,164
<b>無形固定資産合計</b>	<b>37,189</b>	<b>33,586</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	18,600	18,600
長期貸付金	895,299	968,266
繰延税金資産	1,405	1,529
その他	30,533	37,077
貸倒引当金	△627,470	△625,470
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>318,368</b>	<b>400,002</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>4,835,404</b>	<b>4,975,153</b>
<b>資産合計</b>	<b>6,307,115</b>	<b>6,328,543</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	306,379	217,490
短期借入金	80,000	4,169
1年内返済予定の長期借入金	161,319	156,496
1年内返還予定の預り保証金	75,987	75,987
未払費用	19,343	20,023
未払金	20,968	46,064
設備関係未払金	—	39,375
未払法人税等	15,737	8,292
未払消費税等	19,363	3,098
賞与引当金	12,904	11,954
前受金	110,156	156,080
その他	24,157	21,779
流動負債合計	846,319	760,812
固定負債		
長期借入金	619,409	807,607
繰延税金負債	3,097	3,000
退職給付引当金	35,884	40,496
役員退職慰労引当金	12,858	9,265
預り保証金	1,006,529	972,946
長期前受収益	75,405	73,186
再評価に係る繰延税金負債	834,654	834,654
その他	60,860	54,727
固定負債合計	2,648,698	2,795,885
負債合計	3,495,017	3,556,697
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	307,370	307,370
資本剰余金	549,392	549,392
利益剰余金	438,226	398,061
自己株式	△6,018	△6,104
株主資本合計	1,288,971	1,248,719
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	1,523,127	1,523,127
その他の包括利益累計額合計	1,523,127	1,523,127
純資産合計	2,812,098	2,771,846
負債純資産合計	6,307,115	6,328,543

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,487,471	1,658,877
売上原価	1,151,936	1,251,053
売上総利益	335,535	407,823
販売費及び一般管理費	※ 248,593	※ 367,377
営業利益	86,941	40,446
営業外収益		
受取利息	2,890	2,596
受取配当金	81	81
貸倒引当金戻入額	—	2,000
その他	889	3,012
営業外収益合計	3,861	7,690
営業外費用		
支払利息	7,216	11,330
貸倒引当金繰入額	5,000	—
その他	266	819
営業外費用合計	12,482	12,149
経常利益	78,320	35,986
特別利益		
固定資産売却益	2,905	15,834
特別利益合計	2,905	15,834
特別損失		
固定資産除却損	3,148	2,824
特別損失合計	3,148	2,824
税金等調整前四半期純利益	78,076	48,996
法人税、住民税及び事業税	9,487	7,268
法人税等調整額	△239	1,111
法人税等合計	9,248	8,380
少数株主損益調整前四半期純利益	68,827	40,615
四半期純利益	68,827	40,615

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	68,827	40,615
四半期包括利益	68,827	40,615
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	68,827	40,615
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	78,076	48,996
減価償却費	56,844	70,743
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,412	4,612
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	627	△3,593
のれん償却額	—	3,491
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,674	△3,695
賞与引当金の増減額 (△は減少)	392	△950
受取利息及び受取配当金	△2,971	△2,677
支払利息	7,216	11,330
固定資産除却損	3,148	2,824
固定資産売却損益 (△は益)	△2,905	△15,834
売上債権の増減額 (△は増加)	△19,629	46,509
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,807	7,982
仕入債務の増減額 (△は減少)	△78,815	△83,339
未収消費税等の増減額 (△は増加)	32,314	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	12,733	△11,851
その他の資産・負債の増減額	△71,761	△75,722
小計	28,165	△1,173
利息及び配当金の受取額	3,540	3,233
利息の支払額	△2,175	△7,508
法人税等の支払額	△13,530	△14,441
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,000	△19,889
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4,500	△23,400
定期預金の払戻による収入	12,000	—
有形固定資産の取得による支出	△42,071	△100,642
有形固定資産の売却による収入	6,151	21,274
貸付けによる支出	△120,000	△75,500
貸付金の回収による収入	155,000	78,533
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,579	△99,734
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	130,000	140,000
短期借入金の返済による支出	△220,000	△215,831
長期借入れによる収入	87,000	351,000
長期借入金の返済による支出	△66,840	△167,625
自己株式の取得による支出	△59,834	△88
自己株式の売却による収入	—	2
配当金の支払額	△77,564	△78,272
リース債務の返済による支出	△1,891	△6,841
財務活動によるキャッシュ・フロー	△209,130	22,343
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△186,550	△97,272
現金及び現金同等物の期首残高	555,460	937,572
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 368,909	※ 840,299

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
給与及び手当	89,752千円	122,140千円
賞与引当金繰入額	8,511	11,954
退職給付費用	2,412	5,159

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	372,409千円	897,745千円
預入期間が3ヶ月超の定期預金	△3,500	△57,445
現金及び現金同等物	368,909	840,299

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月14日 取締役会	普通株式	80	2	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月14日 取締役会	普通株式	80	2	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	174,989	1,312,481	—	1,487,471	—	1,487,471
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,400	—	—	17,400	△17,400	—
計	192,389	1,312,481	—	1,504,871	△17,400	1,487,471
セグメント利益又は損失(△)	119,495	34,655	—	154,150	△67,209※	86,941

(注) 1. セグメント利益の調整額67,209千円には、セグメント間取引消去17,400千円、  
各報告セグメントに配分していない全社費用49,809千円が含まれております。  
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
※四半期連結損益計算書の営業利益

II 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	175,046	1,230,581	253,248	1,658,877	—	1,658,877
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,280	2,263	—	22,543	△22,543	—
計	195,326	1,232,845	253,248	1,681,421	△22,543	1,658,877
セグメント利益又は損失(△)	116,301	△19,278	12,780	109,804	△69,358※	40,446

(注) 1. セグメント利益の調整額69,358千円には、セグメント間取引消去22,543千円、  
各報告セグメントに配分していない全社費用46,814千円が含まれております。  
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成25年3月28日を効力発生日とする株式交換により日本ダブルリード㈱を連結子会社とし、平成25年3月31日をみなし取得日として報告セグメントの区分に「楽器販売」を新設しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

※四半期連結損益計算書の営業利益

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	1円73銭	1円1銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	68,827	40,615
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	68,827	40,615
普通株式の期中平均株式数(千株)	39,770	40,390

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月12日

株式会社バナーズ

取締役会 御中

新東京監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 黒須 静夫 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 井端 和男 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社バナーズの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社バナーズ及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。